

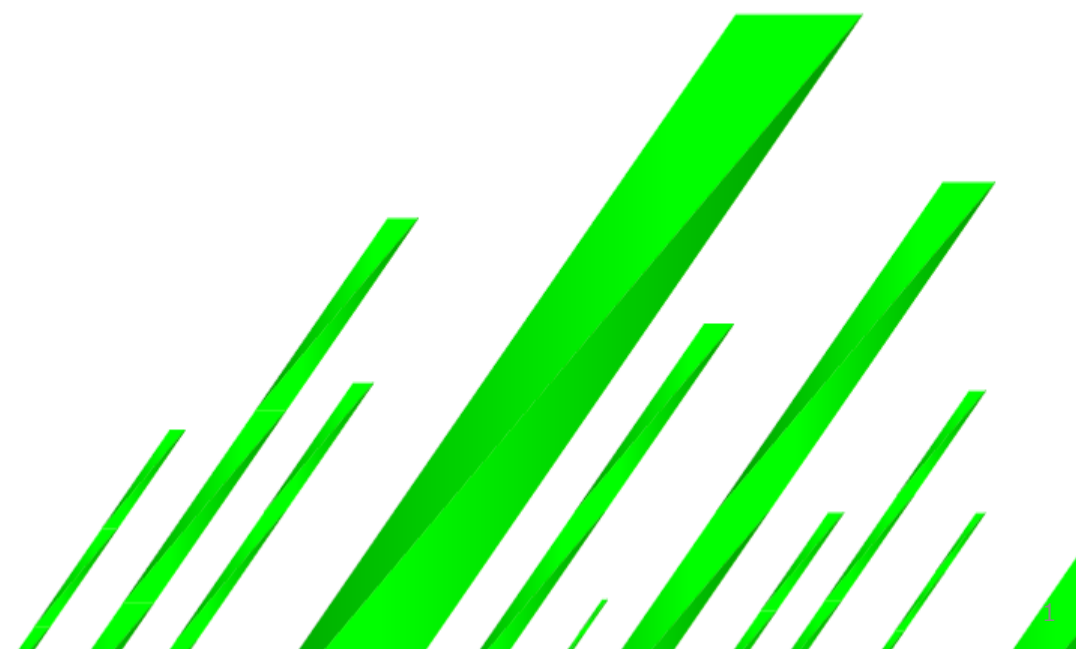
様式記載マニュアル

様式6:基準年度加算・控除申請書

GXリーグ事務局

2023年7月 初版発行

2024年4月 改訂



対象となる様式

- 以下の様式について、その記載方法について解説・補足します。
- 各様式はGXリーグ公式HPに掲載された最新版の使用をお願いいたします。

様式番号	様式名	提出対象企業 (必須/任意)	複数 種類あり ^{*1}	24年度参画企業の ^{*2} 提出期限
様式 1	参画申込書	対象外	-	-
様式 2	GXリーグ参画企業に求める取組に関する報告書	全参画企業 (必須)	○	2024年6月28日
様式 3	組織境界の設定に関する説明書	全参画企業 (必須)	-	2024年6月28日
様式 4	基準年度排出量等報告書	全参画企業 (必須)	○	2024年6月28日
様式 5	排出量実績報告書	全参画企業 (必須)	○	各実績年度の期限
様式 6	基準年度排出量等加算・控除申請書	参画企業 (任意)	○	2024年6月28日
様式 7	構造的変化に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告
様式 8	削減目標変更申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告
様式 9	温室効果ガスの回収量の算定方法に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告

^{*1} 参画企業の事業形態や基準年度の設定方法によって複数の種類から選択を行う様式

様式 2 : 事業会社向け/金融機関向け から選択

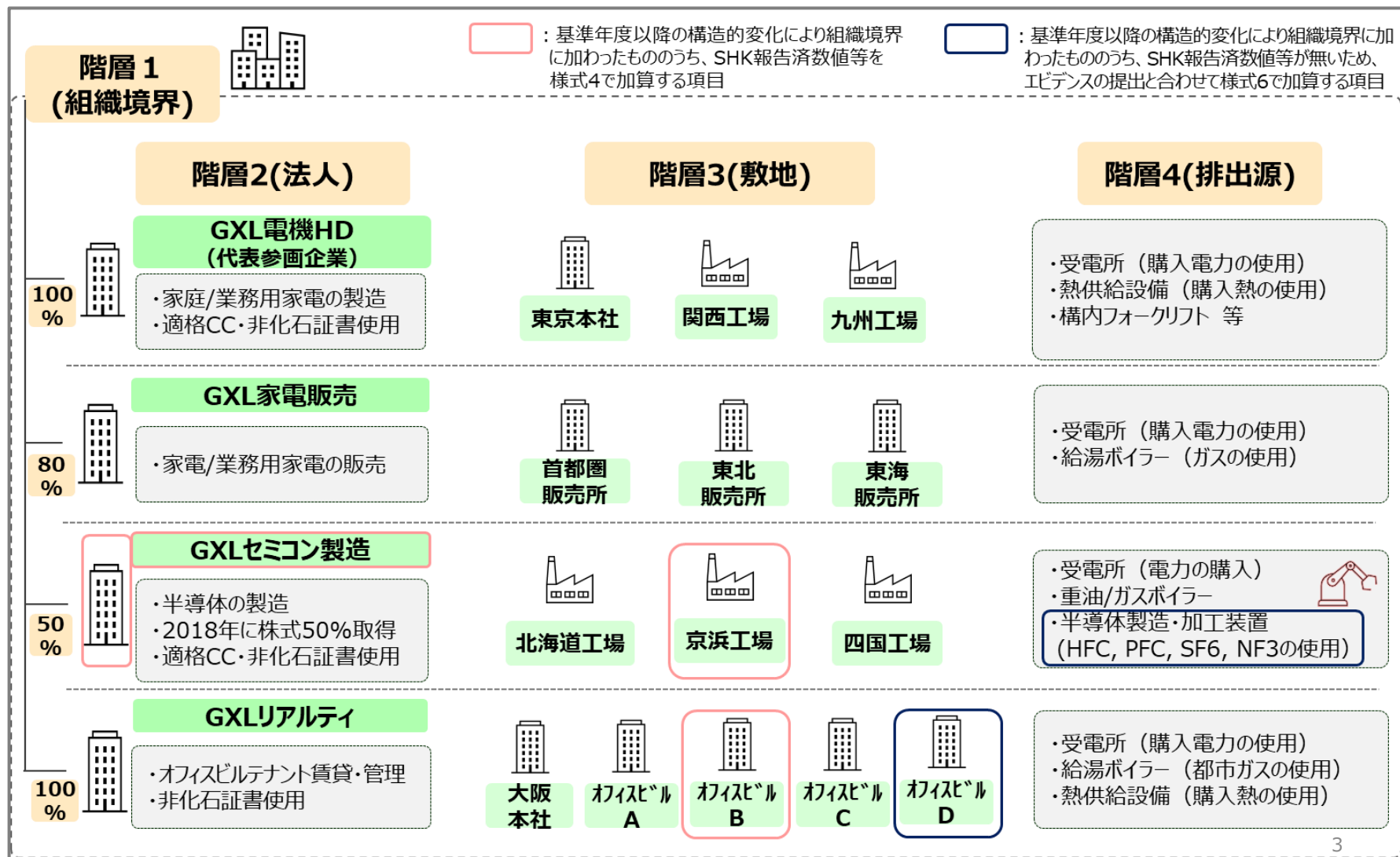
様式 4 : Group G/X, 単年度/複数年度, 法人数に応じて選択

様式 5 : Group G/X, 集計機能付き (数地境界数10/50/100) から選択

様式 6 : 単年度/複数年度, 法人数

^{*2} 23年度参画企業の様式2、3、4、6の提出期限は2023年9月29日

【参考】記載例の想定ケース



様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書

- 本様式は、基準年度排出量等算定時において構造的変化が生じていた場合や、正確性が担保されたデータ（SHK制度で報告済あるいはGHGプロトコル等に基づき算定した第三者検証を受けているデータ）がない場合において、当該排出量を加算・控除する際に使用します。
- 様式6の提出時、加算・控除に係る計算の根拠となる証憑の添付が必要となります。加算・控除が事務局に認められた場合、は様式4と様式6の合計値が基準年排出量となります。
- 設定する基準年度等や組織境界に応じて、以下から様式の種類を選択ください。

様式6 基準年度排出量等加算・控除申請書

単年度用

2013年度を基準年とする場合：以下3種類

10法人用

… 組織境界に含める法人が10社以内の場合

50法人用

… 組織境界に含める法人が50社以内の場合

100法人用

… 組織境界に含める法人が100社以内の場合

複数年度用

2013年度以外を基準年度とする場合 または 直近排出量の加算控除を行う場合：以下3種類

10法人用

… 組織境界に含める法人が10社以内の場合

50法人用

… 組織境界に含める法人が50社以内の場合

100法人用

… 組織境界に含める法人が100社以内の場合

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート1)

様式6 (Sheet1)

基準年度排出量等加算・控除申請書—単年

2023年6月14日

GXリーグ事務局 殿

■参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先 (メールアドレス)	gxl-elec-hd@gxl.co.jp
	連絡先 (電話)	090-1111-2222

■申請にあたっての誓約

基準年度の加算・控除申請にあたって、以下の通り誓約いたします。

- ・基準年度等における排出量の加算・控除においては、その排出量について当社で収集したエビデンスに基づき、その排出量の正確性を確認していること
- ・基準年度排出量を過大に算定することを目的に、算定された数値の前提となる排出係数や計算ロジックを恣意的に操作していないこと
- ・本様式を提出した後、GXリーグ事務局からの照会があった場合には算定された数値の考え方についての説明に応じ、必要に応じてエビデンス等の提示を行うこと
- ・基準年度排出量等が確定された後に、数値に重大な誤りが見つかった場合は、対応方法についてGXリーグ事務局と協議すること
- ・重大な誤りが見つかった場合等において、GXリーグ参画企業が、個別の説明・協議に応じない場合は、GXリーグ事務局による超過削減枠の創出取消しや公表を行う可能性があることを了承すること

1. 申請対象となる排出量

基準年度排出量	
---------	--

2. 基準年度に関する情報

(1) 基準年度

2013	年度
------	----

3. 基準年度排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量	11,669	tCO2e
(2) 国内間接排出量	3,718	tCO2e

・単年または複数年をご確認下さい。様式の種類によってシートの構成が一部異なります。

・法人番号は「法人番号指定通知書」にて国税庁より各法人へ通知されている13桁の番号をご記入ください。

・算定報告書の作成やデータの管理・保管等の実施に責任を持ちます。
(参考)GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン P46

・誓約事項を必ずご確認ください。

・基準年度排出量が選択されていることをご確認ください（単年度版は基準年度排出量のみ選択可能）
※本様式（複数年度）は直近排出量の加算・控除申請にも使用できます。

・基準年度を選択ください。

- ・単年の場合は2013年度以外選択不可
- ・複数年度の場合は年度と対象の3か年を選択

・別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度に加算・控除される排出量となりますので、ご確認ください。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート2)

(Sheet2) 法人単位での排出量等

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	111111111111

企業ID	組織階層2			直接排出量 (tCO2e)		間接排出量 (tCO2e)	
	法人番号	法人名	組織境界取込比率	2013	組織境界取込比率適用後	2013	組織境界取込比率適用後
K00001	111111111111	株式会社GXL電機HD	100%	0	0	0	0
K00002	222222222222	株式会社GXL家電販売	80%	0	0	0	0
K00003	333333333333	株式会社GXLセミコン製造	50%	23,204	11,602	6,810	3,405
K00004	444444444444	株式会社GXLリアルティ	100%	67	67	313	313
K00005				0	0	0	0
K00006				0	0	0	0
K00007				0	0	0	0
K00008				0	0	0	0
K00009				0	0	0	0

- 代表となる参画企業以外の、組織境界に含める法人名、法人番号、組織境界取込比率を入力ください。
 - 様式6で加算・控除を行う法人情報について、入力ください。
 - 入力する法人番号、法人名、組織境界取込比率について、様式3の情報と同じ情報の入力となるようご注意ください。
 - 取り込み比率の考え方は「GX リーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」の第2章 組織境界の識別 2. 組織境界の設定基準をご参照ください。
 - 組織境界取込比率は整数%で入力ください。
- 企業ID：シート4の各シート名と対応します。
 ※企業IDは、GXリーグ事務局にて集計上便宜的に割り当てたIDとなります。

- シート4、シート5で入力した法人毎の排出量が直接・間接排出量毎に自動集計されます。左に入力した組織境界取込比率が反映された、組織境界取込比率適用後数値をご確認ください。
 ※組織境界取込比率適用後数値については、小数点以下切り捨てで自動計算されます。
- 複数年度設定の場合、まずシート1で基準年度と対象期間を選択ください。表頭の年度が反映されます。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート3)

(Sheet 3) 法人・工場・事業場の買収・売却履歴 (加算・控除を行うもの)

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	11111111111111

■主体・客体

※主体となる法人は例えば株式を取得した法人や事業の譲受を受けた法人を指す

※客体は主体が取得した株式を発行している企業や事業譲渡の対象や移転された排出源を指す

■構造的変化のパターン：

※Aパターン…自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合

※Bパターン…自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合

(参照) GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン9頁参照

No.	主体となる法人	客体	構造的変化のパターン	構造的変化の種類	(その他の場合記入)	対象階層	効力発生日 (yyyy/mm/dd)
1	株式会社GXLリアルティ	株式会社LXG不動産 オフィスビルD	Aパターン	事業の譲受け		階層3	2019/4/1
2	株式会社GXLセミコン製造	株式会社LXG半導体製造 北海道工場	Aパターン	事業の譲受け		階層4	2018/4/1
3							
4							
5							

- 基準年度当時のバウンダリーと比較して構造的変化があり、基準年度の排出量データがあることから基準年度に含めたい場合には、対象となる構造的変化の情報を入力ください。
- その際、SHK制度で未報告、あるいはGHGプロトコル等に基づき算定した第三者検証を受けていないデータで、別途エビデンスが提出できる情報を入力してください。すなわち、様式4のシート3に記載した構造的変化はこちらには記載しません。

主体・客体

- 主体：株式等を取得した法人や事業譲渡を受けた法人等を指します。
- 客体：主体が取得した株式を発行した法人や事業譲渡の対象、移転された排出源を指します。

構造的変化のパターン

- Aパターン：自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合
- Bパターン：自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合
(参照) GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン P9

- 構造的変化の対象となる組織階層を選択ください。
 - 階層2：法人単位
 - 階層3：工場・事業所単位
 - 階層4：排出源単位
- 効力発生日（構造的変化が生じた日）を記載ください。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート4 -1/5)

(Sheet4-1) 階層2別排出量(組織境界取込比率反映前数量)2013年度分

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	11111111111111
階層2 法人名	株式会社GXLリアルティ
階層2 法人番号	44444444444444
企業ID	K00004

集計	株式会社GXLリアルティ	加算	控除	合計
直接	0	67	0	67
間接	0	313	0	313
6.5ガス	0	0	0	0

- 複数のシートがあるため、入力時に対象の階層2法人名をご確認ください。
- 加算・控除を行わない法人のシートは入力不要です。

階層2法人の加算・控除		加算・控除	
	株式会社GXLリアルティ	客体の名称:	オフィスビルD (東京)
加算/控除:		加算/控除:	加算
エビデンス (別添資料名)		エビデンス (別添資料名)	共用部における電気・ガス使用量 細を集計した社内資料

	エネルギーの種類	単位	2013年度		加算・控除		
			株式会社GXLリアルティ		オフィスビルD (東京)		
			活動量	CO2量 (tCO2e)	活動量	CO2量 (tCO2e)	
燃料	原油 (コンデンセートを除く。)	kl		0		0	
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kl		0		0	
	揮発油	kl		0		0	
	ナフサ	kl		0		0	
	灯油	kl		0		0	
	軽油	kl		0		0	
	A重油	kl		0		0	
	B・C重油	kl		0		0	
	石油アスファルト	t		0		0	
	石油コークス	t		0		0	
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t		0		0
		石油系炭化水素ガス	km3		0		0
		液化天然ガス (LNG)	t		0		0
	可燃性天然ガス	その他可燃性天然ガス	km3		0		0
		原料炭	t		0		0
	石炭	一般炭	t		0		0
		無煙炭	t		0		0
		石炭コークス	t		0		0
	直接排出	コークス	t		0		0
		コークス炉ガス	km3		0		0
高炉ガス		km3		0		0	
転炉ガス		km3		0		0	
その他の燃料		都市ガス	km3		0	30	67
		推計値	GJ		0		0
	ジェット燃料油	kl		0		0	
	ガソリン	kl		0		0	

• シート毎の排出量集計値をご確認ください。

- 加算・控除入力 (P12で後述)
- 提出するエビデンス名を入力 (社内の排出量管理システムのデータ等)

<直接排出量>

- 赤色セル部分に燃料種別の活動量を入力ください。
- 青色セル部分でCO2換算の排出量が自動計算されます。SHK制度に基づく単位発熱量・排出係数のデフォルト値が適用されます。
※小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

- 構造的変化によらない加算・控除のうち、様式4の報告として含めることができないデータがある場合に入力ください。(例: SHK制度対象外の企業における排出量等)

- 本欄には構造的変化に伴う階層3の加算・控除を入力します (P12で後述)

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート4 -2/5)

		エネルギーの種類	単位	2013年度	
				活動量	CO2量 (tCO2e)
直接排出	その他直接排出/燃料 (自由記入) 例：上記に含まれない燃料や、上記SHKなどで活用する係数以外のもの報告する場合は、記入してください。				0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
		直接排出合計			25,898

単位発熱量		排出係数	
係数	単位	係数	単位
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ

<直接排出量 - デフォルト値以外使用の場合>

- 直接排出のうち、SHK制度で適用する単位発熱量・係数以外を使用する場合は、こちらの記入欄に燃料種、単位、活動量を入力ください。
 - その際、「エネルギーの種類」欄にはデフォルト値以外の単位発熱量・排出係数を使用することの概要を併せて記載ください。
(例) 一般炭原産地の物性を考慮した購入元提供の係数を適用
- CO2量については、数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

- 単位発熱量、排出係数のそれぞれにおいて、適用する数値を入力ください。
- 排出係数は正の値を入力ください。
- 単位発熱量は単位を選択、排出係数は単位をtCO2/GJもしくはtC/GJから選択ください。tC/GJを選択の場合、44/12の炭素換算が適用されます。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート4 - 3/5)

エネルギーの種類			2013年度		加算・控除		単位発熱量				
			株式会社GXL電機HD		オフィスビルD (東京)		係数		単位		
エネルギーの種類			活動量	CO2量 (tCO2e)	活動量	CO2量 (tCO2e)	係数	単位	係数	単位	
熱	産業用蒸気		GJ	0		0		0.060		tCO2/GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		0		0.057		tCO2/GJ	
	温水		GJ	0		0		0.057		tCO2/GJ	
	冷水		GJ	0		0		0.057		tCO2/GJ	
	小計			0		0					
	間接排出 電気	〇〇電力 (株)		千kWh	0		600		0.000522		tCO2/kWh
		△△電力 (株)		千kWh	0		0		0.000516		tCO2/kWh
		□□エナジー (株)		千kWh	0		0		0.000617		tCO2/kWh
				千kWh	0		0				tCO2/kWh
				千kWh	0		0				tCO2/kWh
			千kWh	0		0				tCO2/kWh	
			千kWh	0		0				tCO2/kWh	
			千kWh	0		0				tCO2/kWh	
			千kWh	0		0				tCO2/kWh	
			千kWh	0		0				tCO2/kWh	
小計				0		0					
間接排出合計				0		313					
二酸化炭素換算排出量 (tCO2e)				0		380					

<①間接排出量>

- 熱・電気の利用について、活動量を入力ください。
- 電気は契約先の電力会社、電力メニューを選択ください。
 - 電力メニューは一部SHK制度でメニュー別係数の設定がないことから選択できない年度があります。
 - CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

<②間接排出量 - デフォルト排出係数以外を使用の場合>

- 赤色セル部分に電力会社、電力メニューを記載の上、活動量 (千kWh) を入力ください。
 - ※国が公表する① 電気事業者ごとの排出係数以外で、② ①に相当する実測などに基づく適切な排出係数や、③ ①及び②の係数に代替するものとして環境大臣・経済産業省大臣が公表する係数 (代替値) のみ入力が可能です。

<①間接排出量>

- 電力については、選択した電力会社・メニューに応じてSHKにおける年度別の調整後排出係数が適用されます (青色セル)

<②間接排出量 - デフォルト排出係数以外>

- 適用する排出係数 (tCO2/kWh) を入力ください (赤色セル)
- 排出係数は正の値を入力ください。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート4 - 4/5)

				活動量	CO2量 (tCO2e)	
直接排出 (参考)	その他ガス	CO2 (非エネ)	tCO2e			
		CH4	tCO2e			
		N2O	tCO2e			
		HFCs	tCO2e			
		PFCs	tCO2e			
		SF6	tCO2e			
		NF3	tCO2e			
合計					0	
活動量ベースに記載の場合						
直接排出 (参考)	その他の活動 その他ガス	二酸化炭素	非エネルギー起源	tCO2	0	
		メタン		tCH4	0	
		一酸化二窒素		tN2O	0	
		ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン		tHFC-23	0
			ジフルオロメタン		tHFC-32	0
			フルオロメタン		tHFC-41	0
			1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン		tHFC-125	0
			1・1・2・2-テトラフルオロエタン		tHFC-134	0
			1・1・1・2-テトラフルオロエタン		tHFC-134a	0
			1・1・2-トリフルオロエタン		tHFC-143	0
			1・1・1-トリフルオロエタン		tHFC-143a	0
			1・2-ジフルオロエタン		tHFC-152	0
			1・1-ジフルオロエタン		tHFC-152a	0
			フルオロエタン		tHFC-161	0
			1・1・1・2・3・3-ヘプタフルオロプロパン		tHFC-227ea	0
			1・1・1・3・3-ヘキサフルオロプロパン		tHFC-236fa	0
			1・1・1・2・3-ヘキサフルオロプロパン		tHFC-236ea	0
			1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン		tHFC-236cb	0
			1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン		tHFC-245ca	0
			1・1・1・3-ペンタフルオロプロパン		tHFC-245fa	0
		1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン		tHFC-365mfc	0	
		1・1・1・2・3・4・4・5・5-デカフルオロペンタン		tHFC-43-10mee	0	
		パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン		tPFC-14	0
			パーフルオロエタン		tPFC-116	0
			パーフルオロプロパン		tPFC-218	0
			パーフルオロシクロプロパン		tPFCycloPropane	0
			パーフルオロブタン		tPFC-31-10	0
			パーフルオロシクロブタン		tPFC-c318	0
			パーフルオロペンタン		tPFC-41-12	0
			パーフルオロヘキサン		tPFC-51-14	0
		パーフルオロデカリン		tPFC-91-18	0	
		六ふっ化硫黄		tSF6	0	
		三ふっ化窒素		tNF3	0	
合計					0	

<その他ガス>
 ・CO2換算数値を使用したい場合、こちらに入力ください。

<その他ガス - 活動種別でその他ガス種別に報告をする場合>
 ・CO2換算前の各ガス種単位での排出量を活動量として入力ください。
 ・温対法・SHK制度の定める地球温暖化係数にてCO2換算がなされます。
 ・地球温暖化係数は2023年12月の法令改正を踏まえた係数を適用するものとしていますが、その他係数を活用する場合はAS-AT列に係数を入力ください (赤色セル)
 ※ CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

AQ	AR	AS	AT
地球温暖化係数 排出係数 (2023年度版)	地球温暖化係数排出係数 (その他年度のものを活用の場合記入)		
1	tCO2/tCO2		tCO2/tCO2
28	tCO2/tCH4		tCO2/tCH4
265	tCO2/tN2O		tCO2/tN2O
12,400	tCO2/tHFC-23		tCO2/tHFC-23
677	tCO2/tHFC-32		tCO2/tHFC-32
116	tCO2/tHFC-41		tCO2/tHFC-41
3,170	tCO2/tHFC-125		tCO2/tHFC-125

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート4 - 5/5)

- シート3で入力した構造的変化の履歴に基づき、対象となる階層3の加算・控除情報を入力ください。
 ※SHK制度で未報告、あるいは第三者検証を受けていないデータのうち、別途エビデンスが提出できる情報を入力します。
 ※階層2の加算・控除については当該法人のシート4、階層4の加算・控除についてはシート5で入力します。
 - 客体の名称：シート3の客体情報
 - 加算/控除：該当する方を選択
 ※加算・控除いずれも正の値で入力ください。控除は集計時に控除されます。
 - 別途提出するエビデンスの概要を記入（例：社内の排出量管理システムデータ等）

		階層2法人の加算・控除		加算・控除	
		株式会社GXLリアルティ		客体の名称： オフィスビルD (東京)	
加算/控除：				加算/控除： 加算	
エビデンス (別添資料名)				共用部における電気・ガス使用量明細を集計した社内資料	
		2013年度		加算・控除	
		株式会社GXLリアルティ		オフィスビルD (東京)	
エネルギーの種類		単位		活動量	
				CO2量 (tCO2e)	

直接排出	石炭	原料炭	t		0		0		0	
		一般炭	t		0		0		0	
		無煙炭	t		0		0		0	
		石炭コークス	t		0		0		0	
		コールタール	t		0		0		0	
		コークス炉ガス	千m3		0		0		0	
		高炉ガス	千m3		0		0		0	
		転炉ガス	千m3		0		0		0	
	その他の燃料	都市ガス	千m3		30	67		0		0
		推計値	GJ			0		0		0
		ジェット燃料油	kl			0		0		0
		ガソリン	kl			0		0		0

- 加算・控除対象についても、直接排出・間接排出・直接排出（その他ガス）について、同様の手順で入力ください。
 ※ CO2量については小数点以下切り捨てる整数値で自動計算されます。

様式6 | 基準年度排出量等加算・控除申請書 - 単年の場合 (シート5)

- 本シートには、シート3で入力した構造的変化の履歴に基づき、対象となる(※)階層4の加算・控除情報を入力します。
※SHK制度で未報告、あるいは第三者検証を受けていないデータのうち、別途エビデンスが提出できる情報を入力します。
- 階層2・階層3の加算・控除についてはシート4で入力します。

(Sheet5) 階層4 別追加量(組織境界取込比率反映前数量)

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	1111111111111
階層2 法人名	株式会社GXLセミコン製造
階層2 法人番号	3333333333333
企業ID	K00003

複数のシートがあるため、入力時に対象の階層2法人名をご確認ください。

集計	加算	控除
	2013	2013
直接	0	0
間接	6810	0
6.5ガス	23204	0

シート毎の排出量集計値をご確認ください

加算・控除する排出源の名称を入力

直接排出/間接排出を選択

加算・控除を入力

提出するエビデンスの概要を記入
(例：社内の排出量管理システムデータ等)

No.	名称	活動種			加算/控除	活動量(値) tCO2e 2013	エビデンス (別添資料名を記入)
		温室効果ガス種	活動の概要	直接間接			
1	半導体加工装置	エネルギー起源二酸化炭素(CO2)	電力による装置の稼働	間接	加算	6,810	SHK報告添付資料
2	半導体加工装置	ハイドロフルオロカーボン(HFC)-トリフルオロメタン	ドライエッチング	直接	加算	4,960	HFC使用量 社内レポート
3	半導体加工装置	パーフルオロカーボン(PFC)-パーフルオロメタン	ドライエッチング	直接	加算	11,934	PFC使用量 社内レポート
4	半導体加工装置	六ふっ化硫黄(SF6)	ドライエッチング	直接	加算	4,700	SF6使用量 社内レポート
5	半導体加工装置	三ふっ化窒素(NF3)	ドライエッチング	直接	加算	1,610	NF3使用量 社内レポート

排出源ごとに温室効果ガス種を選択

排出活動の概要を記入

- すべての活動について、CO2換算後の排出量を活動値として入力ください。(単位発熱量・排出係数・地球温暖化係数の乗算は行われません)
- 加算・控除ともに正の整数値(端数切捨)で入力してください。